

第149回コンソーシアム人材セミナー

～チーム（協働・共創）で、未知・不可能にチャレンジ～

宇宙探査～生命の起源を探る～ 《小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトチーム》

令和5年2月20日（月）
13:30～15:10

会場 広島大学 東広島キャンパス 総科K203講義室

会場に来ることができない方には
オンライン（ライブ配信）でご視聴いただきます

対象 博士課程後期・前期学生、学部生、ポスドク、教職員 どなたでも

申込締切り 2月10日（金）

参加費無料

講演要旨

はやぶさ2は、2010年に世界で初めて小惑星の物質を地球に回収した初代「はやぶさ」の基本設計を生かし、大幅に改良を加えた後継機。

別の小惑星「リュウグウ」に着地し、地表と地下の物質を採取し地球に運んできました。

プロジェクトを終えた津田チームリーダーの言葉

◆「小惑星相手に思いつく限りの挑戦をしました。ただし、イチかバチかというギャンブルはしていません。必ず安全を確保し、たとえ失敗しても探査機を失わないようにしました。」

◆「リュウグウという相手を知れば知るほど、それまでの知識では太刀打ちできないことが分かりました」「厳しい相手だからこそ『自分たちに、もっと能力がありはしないか』と、底力を見極める必要がありました。『さすがにそれ以上は、やってはいけない』という限界も。」

◆ 記者からの問い「6年間、100点満点で自己採点するとしたら？」に「1万点でお願いします！」

チーム「はやぶさ2」を、お話しいただきます。

チームの合言葉
はやぶさ2チームは「映画にさせない」

※ 卒業後、多様な職場での活躍を期待される学生の皆様へのアドバイス、コメントもあります。

講師の紹介

1975年 広島県生まれ

2003年3月 東京大学 工学系研究科 航空宇宙工学専攻修了 博士（工学）

2003年4月 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教

2008年3月-2008年7月 ミシガン大学 航空宇宙工学科 客員研究員

2008年8月-2009年3月 コロラド大学ボルダー 航空宇宙工学科 客員研究員

2014年7月-2019年12月 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授

2020年1月-現在 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授

研究分野 航空宇宙工学、太陽系探査



講師：津田 雄一 氏

申込方法



QRコードまたは下記 URL からアクセスし
応募フォームからお申込みください。

URL: <https://forms.gle/mFhYv1dSja8Z4Rvq8>

お問い合わせ

広島大学グローバルキャリアデザインセンター（担当：宮地）

TEL: 082-424-4564

E-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

主催

未来を拓く地方協奏プラットフォーム（HIRAKU）